

第26期ビハーラ活動者養成研修会を受講して

鳥取因幡組 浄宗寺 三谷 静江

ビハーラ活動者養成研修会を受講し、本当に多くの大切なご縁をいただいたと感謝しております。

皆様が志高く参加されておられるのに驚きましたが、既にビハーラ活動されながら研修会でもっと知識を深めたいと思って参加されている方々。そして、その頃「何か行動しなくては」と思いながら動けないで消極的になっていた私に勧めていただいたこの研修会。最初は「何かをつかんで人生の糧にしたい」と思って参加したのですが、研修が始まってビハーラの幅広い活動には難しさを感じました。そして、人生の終末期に側にいてほしい、話を聞いてほしい、極楽浄土に導いてほしいなどと願う人達に対し、何ができるのだろうか。そんな事は自分自身を知ってこそ向き合える事だと結論を出すより前に「今の私に何が出来るのだろうか」という気持ちが生まれて悩んだ研修の日々でした。本当に自分の考えの甘さを知り、覚悟を決めて取り組まないといけないと身の引き締まる思いがしたことです。

実習で初めて介護施設を利用しておられる方々と話を交わしたときは、本当に疲れしました。相手から

はたくさんお話ししていただけたのですが、会話が途切れるのが気まずくて必死に質問ばかりしていた事を振り返ったとき、正に傾聴こそが大切なビハーラ活動なのだと、自分自身が試されていたことに思い至ったことです。ひたすら相手の話を聞き、その空気を分かち合って残された命と向き合うことによって精一杯生きていただける、そういう場面に出会えたら幸せに思います。今回の研修で命の不思議に目覚め、先祖から受け継いだ遺伝子細胞で今自分がここに存在している事に気づいて安心と勇気をいただきました。

一つの方向性をもって学べた今回の研修のカリキュラムはとても厳しいものでしたが講義はそれぞれ新鮮であり、毎回興味深く拝聴させていただくとともに、少しずつ自分の心の中の弱さと向き合う気持ちの強さが生まれてきたと思っています。そして今後ともぶれない自分でありたいと願っています。

微力ではありますが、これからも私なりに出来ることを考えながらビハーラ活動に参加させていただきたいと思っています。

ビハーラ山陰総会・研修会報告

と き 2017(平成29)年6月7日(水)

とこ 本願寺山陰教堂 教化センター



午前中の総会では、前年度事業報告並びに決算・監査報告を行い、引き続き今年度の事業計画・予算案をご審議いただきました。

午後からの研修会は、昨年引き続き、武田正文先生(邑智東組高善寺)を講師にお迎えし、「心に『寄り添う』とはどういうことか?」をテーマに、臨床心理士・スクールカウンセラーという専門的立場から、様々な事例の紹介やエゴグラム(性格診断テスト)を用いてお話をいただきました。参加人数は、35名でした。